

秋田緑ヶ丘病院広報紙

たけのこ

2024
JULY

7

第49号

日本医療機能評価機構認定病院



医療法人 久盛会

秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川84番地
TEL (018) 845-2161 FAX (018) 846-6942
ホームページ <http://www.kyusei.or.jp/>



理 念

友情を図り、「生きる喜び」と「希望」を育み、
「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指 針

1. 医療の安全と質の向上に努め、信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚と医療事故の防止に努めます
3. 患者さんの人権と尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるように自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会に貢献できるように努めます
6. 精神障がいに対する偏見や誤解の解消に努めます

蒼く茂る芝生、
夏到来！



特集

「安心して働ける職場づくり」

～“プラチナくるみん”の認定～

「安心して働ける職場づくり」 ～“プラチナくるみん”の認定～

当院は、職員にとって、安心して働ける職場を目指し、数年に渡り様々な事に取り組んできました。その結果、秋田県で初となる、「プラチナくるみん」企業として認定されました。

1 プラチナくるみんマークについて

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業に対し、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から“くるみん”の認定を受ける事が出来ます。さらに、高い水準の取り組みを行っている企業を評価する制度が、“プラチナくるみん”の認定です。当院は、秋田県で唯一の“プラチナくるみん”認定企業です（広報紙発行時点）。



3 従業員の子育て支援



育児休業の取得は、何かと気を使う事が多いため、気軽に休むことが出来ません。当院では、育児休業の取得を企業全体の方針に掲げているため、男性従業員も抵抗感なく育児休業を取得しています。また、育児休業や保育所の利用に係る費用に対し、各種手当制度が有ります。

4 女性従業員のサポート

病院では多くの女性従業員が勤務していますが、女性特有の病気や不妊治療など、健康を維持する事は容易ではありません。当院では、“ウーマン休暇”という制度を導入し、幅広い要件で休みを取ることが出来るようにしました。多くの従業員に喜んで頂き、離職防止にも繋がっています。



2 職員処遇改善委員会

当院独自の委員会として、職員処遇改善委員会があります。働く職員の声に耳を傾け、必要な対策は、具体的に、且つスピーディーに対応します。例えば、仮眠の取れる休憩室が欲しいとの要望を受け、委員会が主導し、リクライニングチェア付きの女性専用休憩室を整備しました。



5 雨や雪でも安心通勤

昨年10月に、職員駐車場の完全舗装工事が完了しました。これにより、長年の懸案事項だった冬季間の通勤について、職員の負担が大幅に軽減されました。



育児と仕事に全力投球！

HP職員
インタビュー



HP <http://www.kyusei.or.jp/recruit/>



作業療法士
能登屋 礼子

2人の子育て中です。職場復帰したその日に、保育園から「熱が出た」との連絡を受け、帰らせてもらった経験があります。その時は、心から申し訳ない気持ちでしたが、すぐに不在時の業務体制を整えて頂き、無事に迎えに行くことができました。当院は、お互いの気持ちが浸透し、休みやすい雰囲気です。大変な時期は続きますが、仕事も子育ても頑張ります。



作業療法士
御船 大雅

初めての育児は、落ち着きのない子供に常に気を張っていましたが、それでも、両親が共に育休を取得した事で、お互いの心的負担が軽減され、色々話し合い、学びながら育児が出来ました。今では、仕事から帰ると子供と関われる時間が一瞬で終わってしまいます。1ヶ月間の育休は、子供の成長が感じられる、とても大切な時間でした。

Midorigaoka information



当院には、人工芝が敷き詰められた屋内運動場がありますが、週末は、職員の運動不足の解消に一役買っています。お子さんと一緒にスポーツを楽しんでいる職員をご紹介します。Aさんは、昨年長女と長男が野球を始め、練習できるスペースを探していました。職場の屋内運動場が使用できるという話を聞き、それ以来、度々、野球の練習をしています。初めはキャッチボールもままならない状況でしたが、徐々に上達し、親子の絆も深まったとの事。今年のテーマは、「さあ、はじめよう」、自身の運動不足の解消のために、子どもと一緒に運動を楽しんでいます。

職員コラム

Slow Travel

看護師 石川 桂美

永年勤続者に旅行券が配布される事を聞き、年甲斐もなく高揚したことを思い出す。雑誌を横目に、どこに行こうかと、思いを巡らせる。海外も考えたが、食の好みや極端な私には、国内一択だった。偶然テレビに映った大学駅伝のスタートシーンを見て、直感的に決めた。旅の道順は、出雲大社から松江城、最後は京都。コロナウイルス感染症が流行し、県外への往来が禁止される中、心配が尽きぬ日々。ルールが緩和されたタイミングで、少々不安な記念旅行を決定した。

絵葉書のような風景の中を、自分の脚で散策する。大迫力の出雲大社のしめ縄、ちりばめられた“うさぎ”の置物を夢中で探索。稲佐の浜、ちょうど引き潮のタイミングで、弁天島にお参りする。宿からは、宍道湖が目の前に広がる。翌朝、掛け声に

気付く窓の外を見ると、一斉にシジミ取りが始まる。楽しそうに漁をしている様子を、時を忘れしばらく眺める。きたろうロードは、いたるところに妖怪の像が置かれている。気味の悪い独特な世界観だが、珍しい来訪者を、妖怪達が歓迎しているようにも感じる。コロナ禍の影響で外国人観光客が殆どいない京都。閑散とした城下町を、15,000歩、ひたすら歩く。不思議な事に、それほど疲れは感じない。静かに佇む荘厳な清水寺、京都御所、稲荷神社。狛犬ならぬ狛イノシシが祀られた神社を見つけ、一人お参りする。

人に流されることなく、ゆっくりとした7日間の旅を堪能した。長く勤められたのは娘のお陰と、一緒に旅をすることを提案したが、「家でも旅先でも一緒に部屋は嫌」と、そっけなく断られた。娘の本心なのか、それとも、一人旅を邪魔しない心遣いなのかは分からない。京都では、何となく御朱印を集めたが、今でも神社に行くと、御朱印の事が気になる。元来、出不精な私だが、趣味はと聞かされると、「旅をする事」と答えている。このような機会を頂いた事は、唯々、感謝しかない。

外来診療のご案内

◆初診の場合

〈受付窓口〉 受付・総合案内へ

〈外来診療受付時間〉

【心療内科・精神科】 午前 8:45～11:30
午後 1:30～ 3:00
(金曜・第1・3・5土曜は休診)

【内 科】 午前 8:30～11:00

〈診療時間〉

【心療内科・精神科】

平日(月～木) 午前 9:00～12:00

午後 2:00～ 5:00

(金) 午前 9:00～12:00

土曜(第2・4のみ) 午前 9:00～12:00

【内 科】

平日(月・水・金) 午前 9:00～11:30

◆2回目以降受診(再診)の場合は

再来受付機または受付・総合案内へ
〈必要なもの〉 診察券と保険証

◆マイナンバーカード(マイナ保険証)の持参にご協力ください

マイナ保険証を利用し、薬剤情報や健診情報の取得に同意していただくことで、より質の高い医療の提供が可能となります。正確な情報を取得・活用するためにご協力をお願いいたします。



◆院外処方について

当院では外来の院外処方を行っています。ご不明な点につきましては、外来受付までお問い合わせ下さい。

◆専門外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「もの忘れ外来」「睡眠障がい外来」「PTSD外来」こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。

◆医療費のお支払いについて

自動精算機を導入しました。現金払いの他に、クレジットカード(JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA及びMasterCard等)がご利用できます。



入院患者さんとの面会と感染対策について

当院では入院患者さんとの対面による面会が可能です。ただし、面会時間等、一部制限を設けた対応となっておりますので、詳細については病院窓口までお問合せください。随時、病院ホームページなどでもお知らせいたします。

感染対策に関しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。
秋田緑ヶ丘病院 院内感染対策委員会

Gallery



初挑戦

今までは刺し子が主だった針仕事ですが、最近刺繍を取り組む患者さんが増えてきました。1針1針縫うことは同じですが、また違った雰囲気の中で集中して取り組まれています。職員も負けじと「夏」を感じてもらえるように海の生き物を編みぐるみで作りました。たくさん作った中からいくつか選んでみましたが、いかがでしょうか？

New staff

看護助手 ス ミヤツモンさん

介護福祉士を取得し、長い期間、日本で生活したいと考えています。編み物が得意で、休みの日は帽子やマフラーなどを作製しています。ストレス解消方法は、ゆっくりとした音楽を聴く事と、海を見て過ごす事です。



看護助手 チューチュー ミンアウンさん

料理をする事が好きで、鶏肉を使ったミャンマー料理が得意との事。ミャンマーの実家は、年中暑いので、寒い季節の日本がとても好きです。優しい看護助手さんを目指し、日々努力しています。夢は、東京ディズニーランドに行く事です。



看護助手 ション レウエさん

食べる事が大好きなションさんは、日本のラーメンを好んで食べます。ミャンマーは辛い味が主流ですが、特に日本のスープが良いとの事。体格が大きな方の入浴介助の際は、少し緊張するようですが、患者さんとお話する事がとても楽しいそうです。

